

## 化学・物質工学セミナー

下記の通りセミナーを開催します。万障 お繰り合わせの上 ご参加ください。

第 712 回例会

記

日時：令和元年 10 月 29 日（火） 12：50-14：20

場所：総合教育棟 2F 多目的ホール

演題：遍歴電子磁性の最近の展開

講師：吉村一良 先生（ 京都大学 大学院理学研究科 化学教室 教授）

主として固体化学や金相学的手法を用いた新規遍歴電子磁性体や超伝導体の探索・合成、および、その物性評価の研究を行ってきた。ここではそれらについて、特に遍歴磁性の最近の展開を中心に、まとめて講演したい。

具体的には、新しい遍歴電子磁性体であるラーベス相化合物  $Y(\text{Co-Al})_2$ 、酸化物系の遍歴電子強磁性体であるペロブスカイト型  $(\text{Sr-Ca})\text{RuO}_3$ 、二次元遍歴電子強磁性体系であるカルコゲナイド・ニクタイト系化合物  $\text{LaOCuAs}$  や  $\text{ACo}_2\text{X}_2$  ( $A=\text{アルカリ金属, Ca, Sr, La; X=P, As, Se}$ )、銅酸化物高温超伝導体、フラストレート効果を有するパイロクロア型酸化物超伝導体  $\text{Cd}_2\text{Re}_2\text{O}_7$ 、水を含む二次元三角格子 Co 酸化物系である  $\text{Na}_x\text{CoO}_2 \cdot y\text{H}_2\text{O}$ 、籠状構造を有する強結合超伝導体  $\text{A}_3\text{B}_4\text{Sn}_{13}$  ( $A=\text{Ca, Sr, La; B=Co, Rh, Ir}$ ) など、様々な遍歴電子磁性体やエキゾチック超伝導体に関する、探索・合成・物性評価に関する研究について講演する。

第 712 回セミナー世話人

工学研究科物質科学部門 近藤慎一郎

(内 2635)